

本マニュアルでは、G空間情報センターのホームページから地図XMLデータをダウンロードし、Assist8に取り込む方法をご紹介します。

## 【①PCの事前準備】

地図XMLデータをAssist8に読み込むには「Microsoft Access データベース エンジン 2016 再頒布可能コンポーネント」をPCにインストールしておく必要があります。インストールがお済みでない場合は、下記URLより64bit版を入手してインストールしてください。

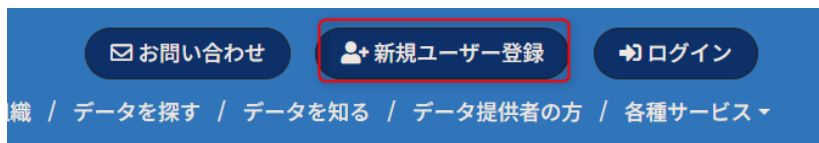
<https://www.microsoft.com/ja-JP/download/details.aspx?id=54920>

※32bit版のMicrosoft Officeをご利用の場合は64bitのデータベースエンジンをインストールできません。Microsoft Officeを64bit版に入れ替えてから64bitのデータベースエンジンをインストールしてください。

<input type="checkbox"/> ファイル名	サイズ
<input type="checkbox"/> accessdatabaseengine.exe	77.8 MB
<input checked="" type="checkbox"/> accessdatabaseengine_X64.exe	79.5 MB

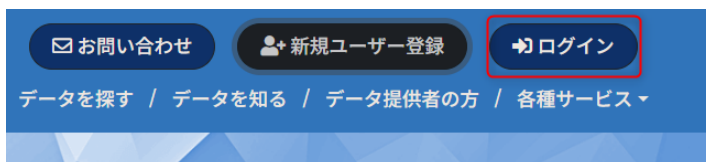
## 【②新規ユーザー登録】

- インターネットにて「G空間情報センター」と検索し、G空間情報センターのホームページにアクセスします。
- 右上の [新規ユーザー登録] をクリックし、案内に従ってユーザー登録をします。メールアドレスの確認まで完了したらログインします。



## 【③ログイン】

- [ログイン] をクリックし、ユーザー名やパスワードを入力してログインします。



ログイン

ユーザー名:

パスワード:

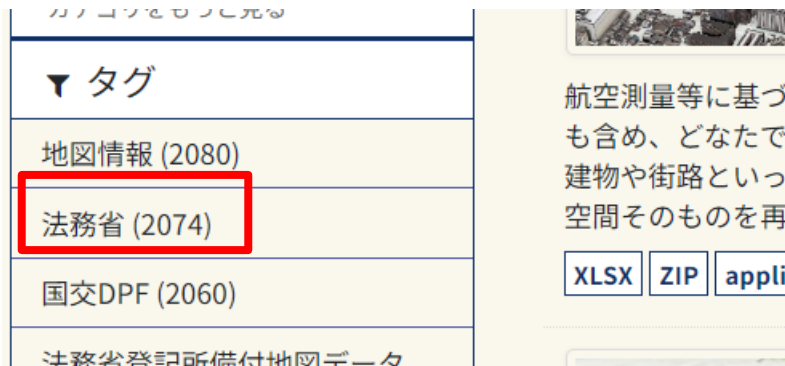
保存:

## 【④データのダウンロード】

1. [データセット] をクリックします。

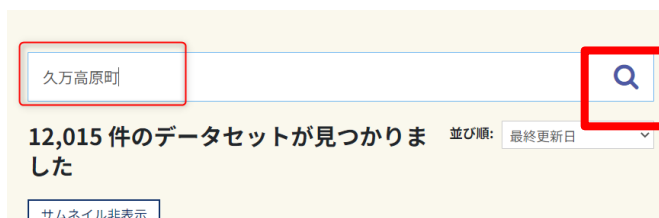
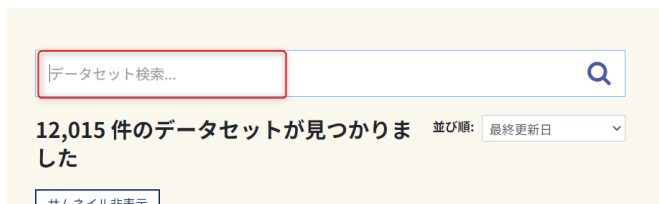


2. 左側の一覧の「タグ」欄から、[法務省] をクリックしてデータを絞り込みます。

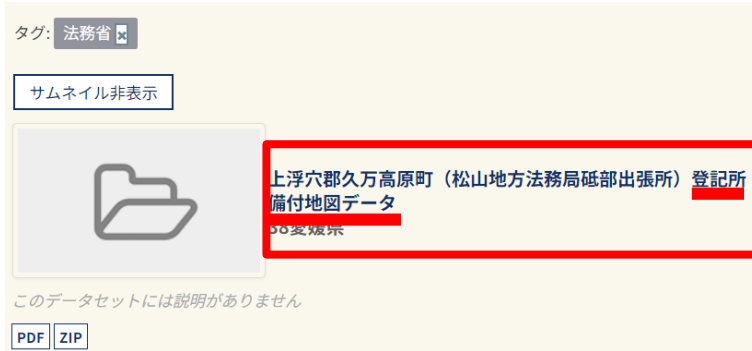


3. 「データセット検索…」と書かれたところに、地図XMLデータをダウンロードしたい市町村の名前を入力して虫眼鏡マークをクリックします。

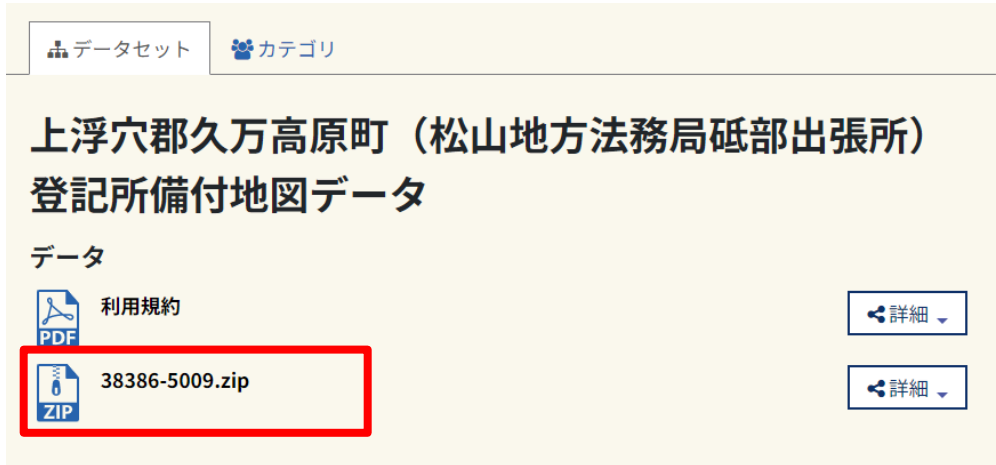
※データが掲載されていない市町村もあります。



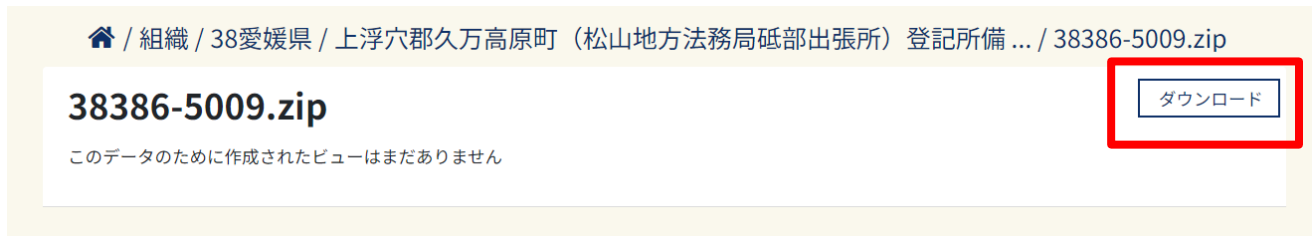
4. 検索結果のうち、タイトルに「登記所備付地図データ」と書かれたデータをクリックします。



5. 「xxx.zip」と書かれたデータをクリックします。



6. [ダウンロード] をクリックします。



7. 利用規約を一読して[利用規約を承諾する] をクリックするとダウンロードが始まります。

## 38386-5009.zip

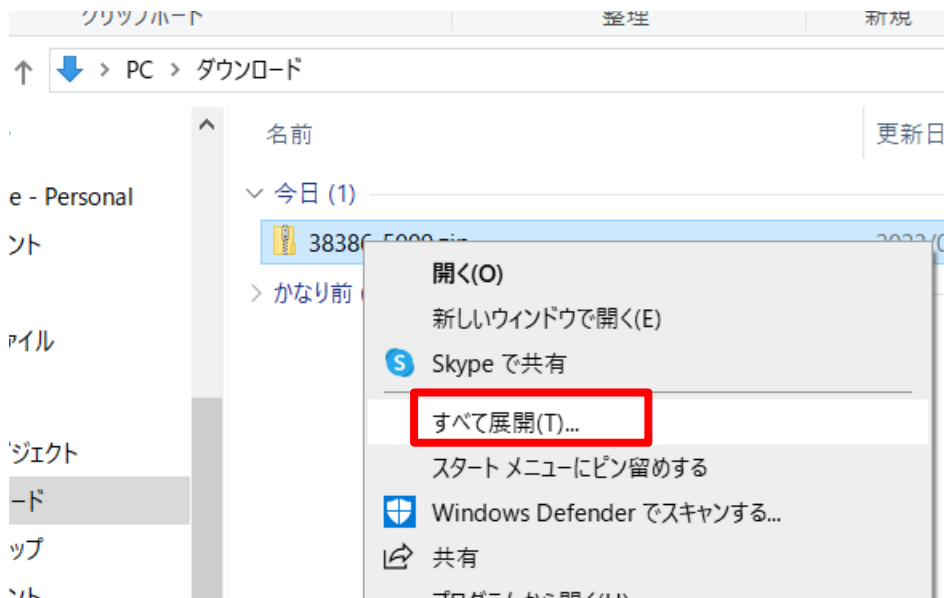
以下の利用規約に同意した場合のみ、「利用規約を承諾する」をクリックしてください。

📄 利用規約を承諾する

🔗 データ詳細へ

8. ダウンロードされたzipファイルを右クリックし、[すべて展開]をクリックしてzipファイルを展開します。

※zip ファイルがどのフォルダにダウンロードされたか不明な場合は、まず「ダウンロード」フォルダをご確認ください。



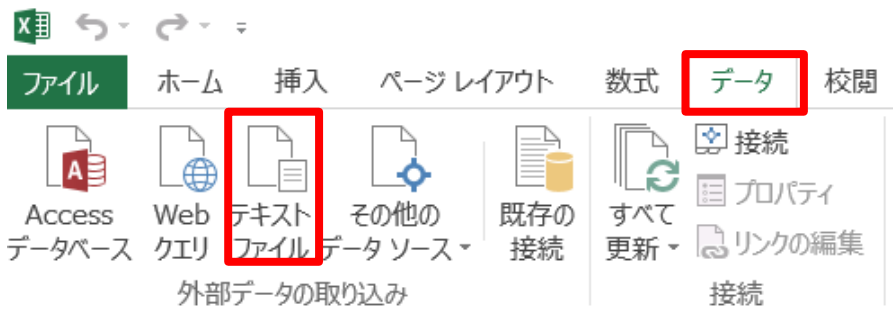
9. 展開されたフォルダを開きます。地番別に細かくデータがわかれていますので、フォルダ内にある「xxxx (←地域による) -search-list.csv」から該当する地番のデータがどのフォルダに入っているか確認します。

なお、csvデータをそのままダブルクリックで開くと正しく表示されないことがあるため、以下の手順で開きます。

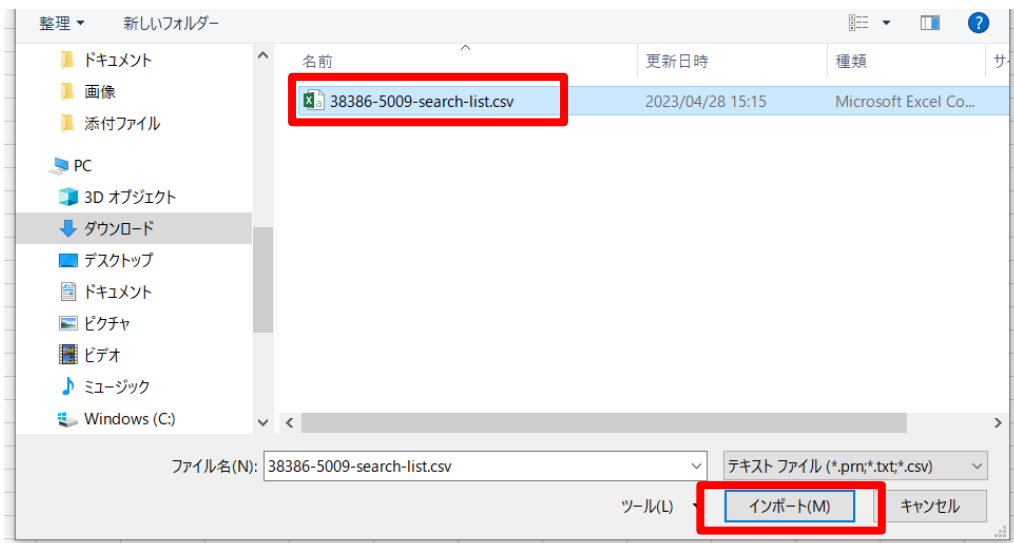
## 【⑤csvを開く方法】

※Excelのバージョンによって画面が異なる場合があります。

1. Excel を起動します。
2. 新規の画面を開き、[データ] →[テキストファイル] をクリックします。



3. 「テキスト ファイルのインポート」画面で、「xxxx-search-list.csv」を選択し、[インポート] をクリックします。



## 4. [カンマやタブなどの……]を選択して、[次へ]をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 1 / 3

選択したデータは区切り文字で区切られています。  
[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式

データのファイル形式を選択してください。

**カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)**

スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(W)

取り込み開始行(R): 1 元のファイル(Q): 932 : 日本語 (シフト JIS)

先頭行をデータの見出しとして使用する(M)

ファイル C:¥Users¥tanaka¥Downloads¥38386-5009¥38386-5009-search-list.csv のプレビュー

1	ZIP ファイル名, 出力年月日・時刻, 地番区域, 地番, 地番区域 (筆界未定地構成地番), 地番 (筆界未定地構成地番)
2	38386-5009-1.zip, 202202151416, 上浮穴郡久万高原町下畑野川, 甲1,,
3	38386-5009-1.zip, 202202151416, 上浮穴郡久万高原町下畑野川, 甲2-1,,
4	38386-5009-1.zip, 202202151416, 上浮穴郡久万高原町下畑野川, 甲2-2,,
5	38386-5009-1.zip, 202202151416, 上浮穴郡久万高原町下畑野川, 甲3-1,,
6	38386-5009-1.zip, 202202151416, 上浮穴郡久万高原町下畑野川, 甲3-2,,

キャンセル < 戻る(B) **次へ(N) >** 完了(E)

## 5. 「区切り文字」欄で[カンマ]のみにチェックを入れて [次へ] をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

タブ(T)

セミコロン(M)

**カンマ(C)**

スペース(S)

その他(Q):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(R)

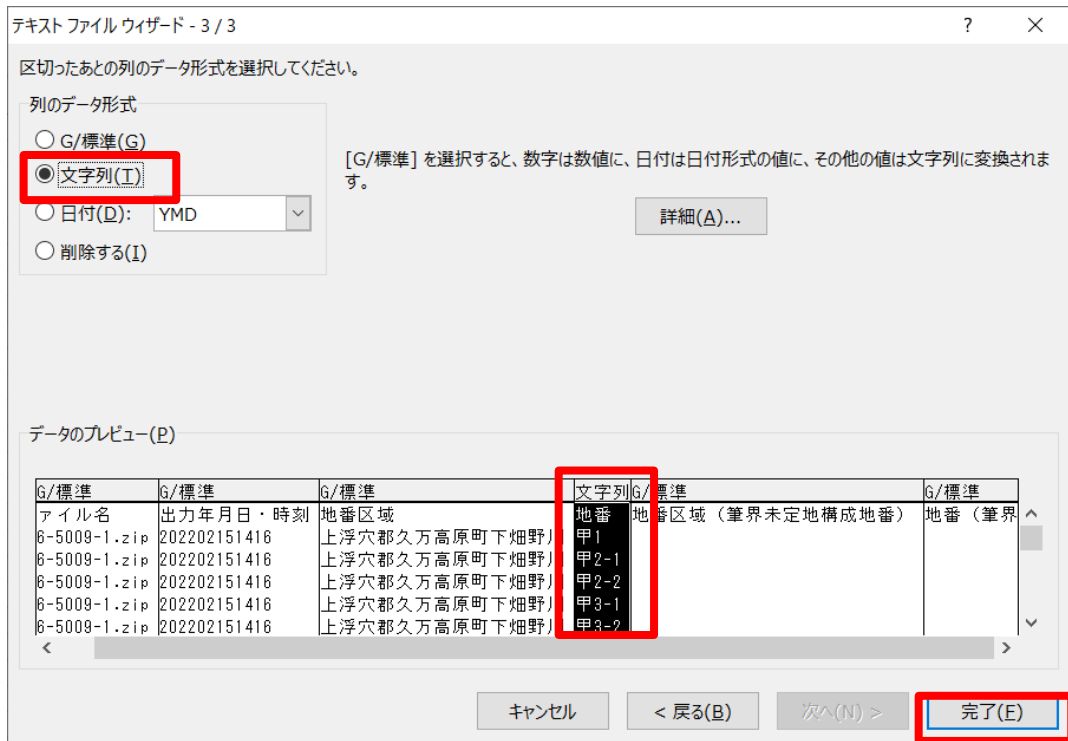
文字列の引用符(Q): "

データのプレビュー(P)

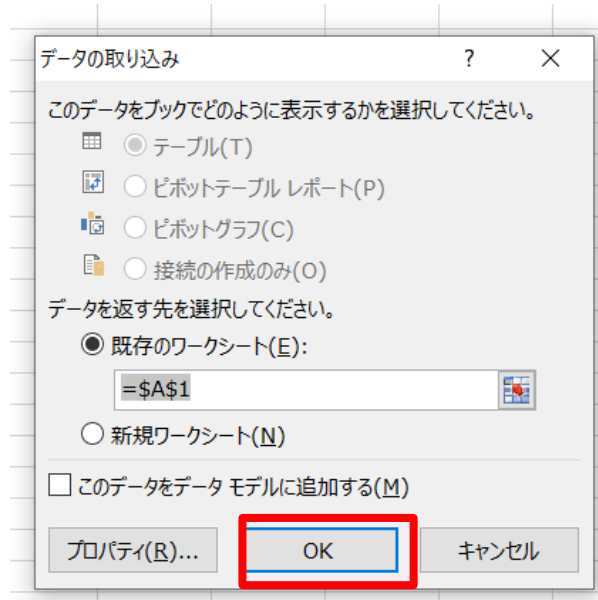
ZIP ファイル名	出力年月日・時刻	地番区域	地番	地番区域 (筆界未定地構成地番)	地番
38386-5009-1.zip	202202151416	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲1		
38386-5009-1.zip	202202151416	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲2-1		
38386-5009-1.zip	202202151416	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲2-2		
38386-5009-1.zip	202202151416	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲3-1		
38386-5009-1.zip	202202151416	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲3-2		

キャンセル < 戻る(B) **次へ(N) >** 完了(E)

6. 「地番」の行をクリックし、「列のデータ形式」で[文字列]をクリック、[完了]をクリックします。



7. 以下のようなダイアログが出たら [OK] をクリックします。



8. 「地番」「ZIPファイル名」欄で、欲しい地番のデータがどのZIPファイルに入っているかを確認します。どのZIPファイルが必要かがわかったら、ページ4の手順8に記載の方法で対象ZIPファイルを展開します。

A	B	C	D	E	F
ZIPファイル名	出力年月日・時刻	地番区域	地番	地番区域(筆界未定地構成地番)	地番(筆界未定地構成地番)
38386-5009-1.zip	2.02202E+11	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲1		
38386-5009-1.zip	2.02202E+11	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲2-1		
38386-5009-1.zip	2.02202E+11	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲2-2		
38386-5009-1.zip	2.02202E+11	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲3-1		
38386-5009-1.zip	2.02202E+11	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲3-2		
38386-5009-1.zip	2.02202E+11	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲3-3		
38386-5009-1.zip	2.02202E+11	上浮穴郡久万高原町下畑野川	甲2-5		

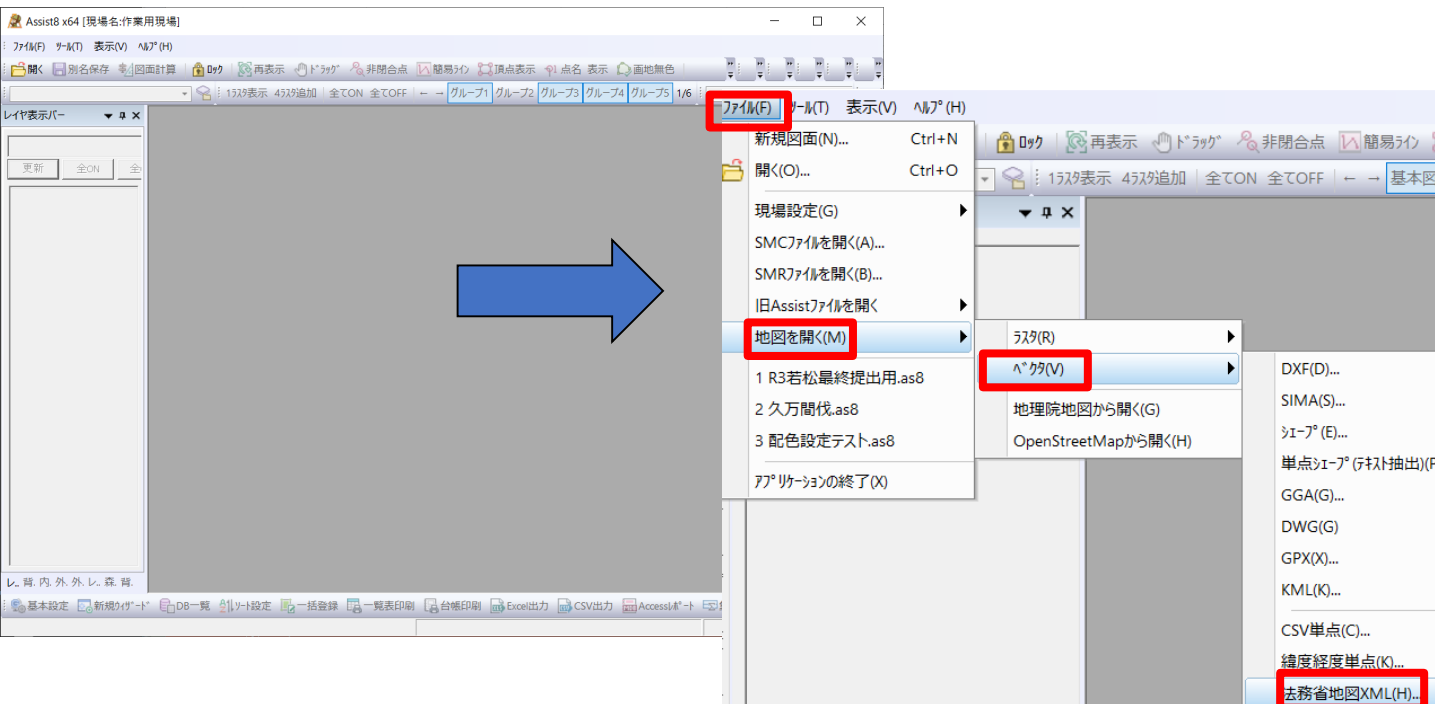
## 【⑥xmlを開く方法】

まず、新規図面に地図XMLを追加する方法をご案内します。

既存図面に追加する場合は、12ページ目以降に記載の操作も併せてご確認ください。

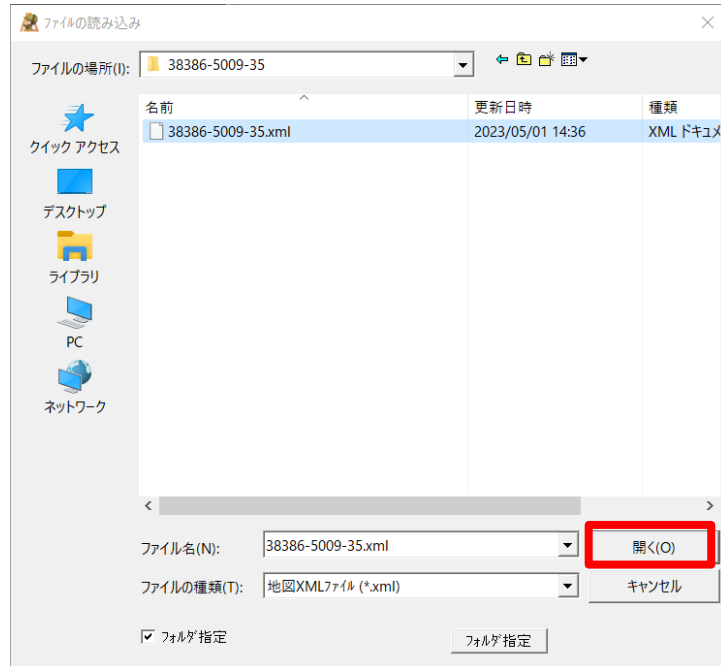
1. Assist8 を起動し、[ファイル]→[地図を開く]→[ベクタ]→[法務省地図XML]をクリックします。

※既存の図面ではなく、何も図面を開いていない状態からスタートします。





2. [ファイルの読み込み]画面にて、ページ8の手順8で展開したフォルダ内にあるXMLファイルを指定して開きます。



3. 「法務局用MDBが作成されていません」というメッセージが表示される場合 [はい]をクリックします。



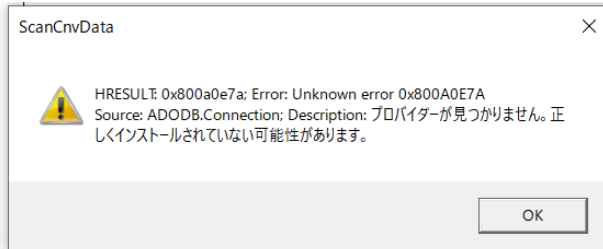
4. 「入力設定」画面で、座標値など各項目を入れるレイヤを設定して[OK]をクリックします。  
このままでも問題ありません。

※背景レイヤ以外は選択できません。

※市町村によっては読み込みに時間がかかる場合があります。

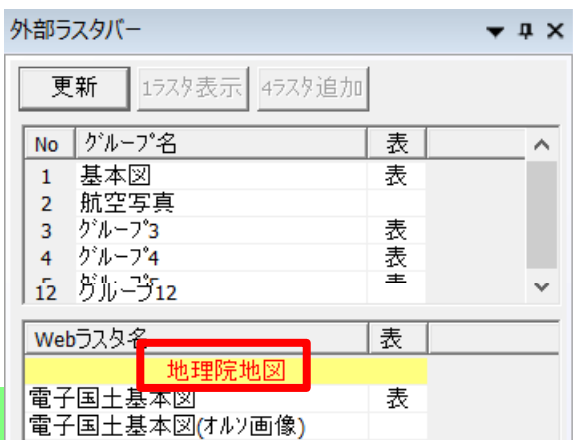


※下図のエラーが表示された場合、本マニュアルの1ページ【①PCの事前準備】に記載の手順にて「Microsoft Access データベース エンジン 2016 再頒布可能コンポーネント」をインストールしてください。

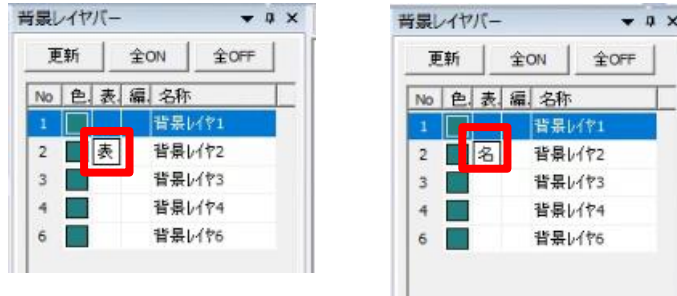


5. 外部ラスタを表示して、Assist8に取り込んだ地図XMLデータが正しい場所に表示されているか確認します。

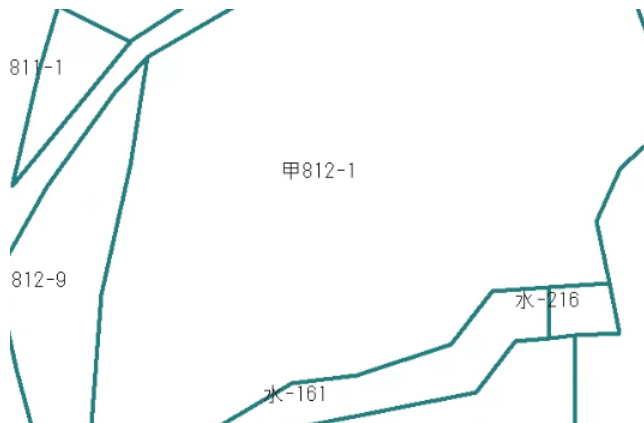
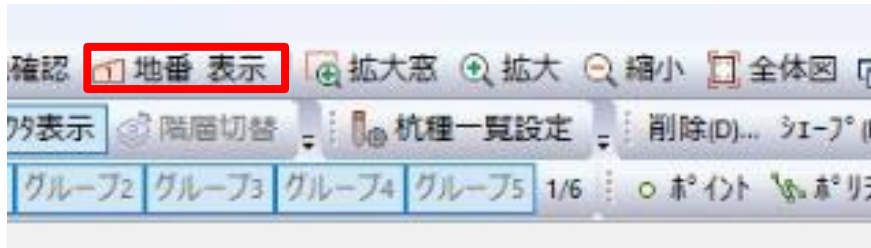
「外部ラスタバー」にて、[地理院地図]をクリックし、電子国土基本図等を表示してご確認ください。※任意座標データだった場合、ページ17以降の操作を行ってください。



6. 地番を表示したい場合、下記のように通常のレイヤの地番を表示する手順と同様の手順で表示します。  
「背景レイヤバー」にて、地籍データが入っているレイヤ（通常は2つ目のレイヤ）の[表]欄をクリックして、[名]にします。



上記手順で、地番が表示されない場合、[地番表示]ボタンがオンになっているか確認します。

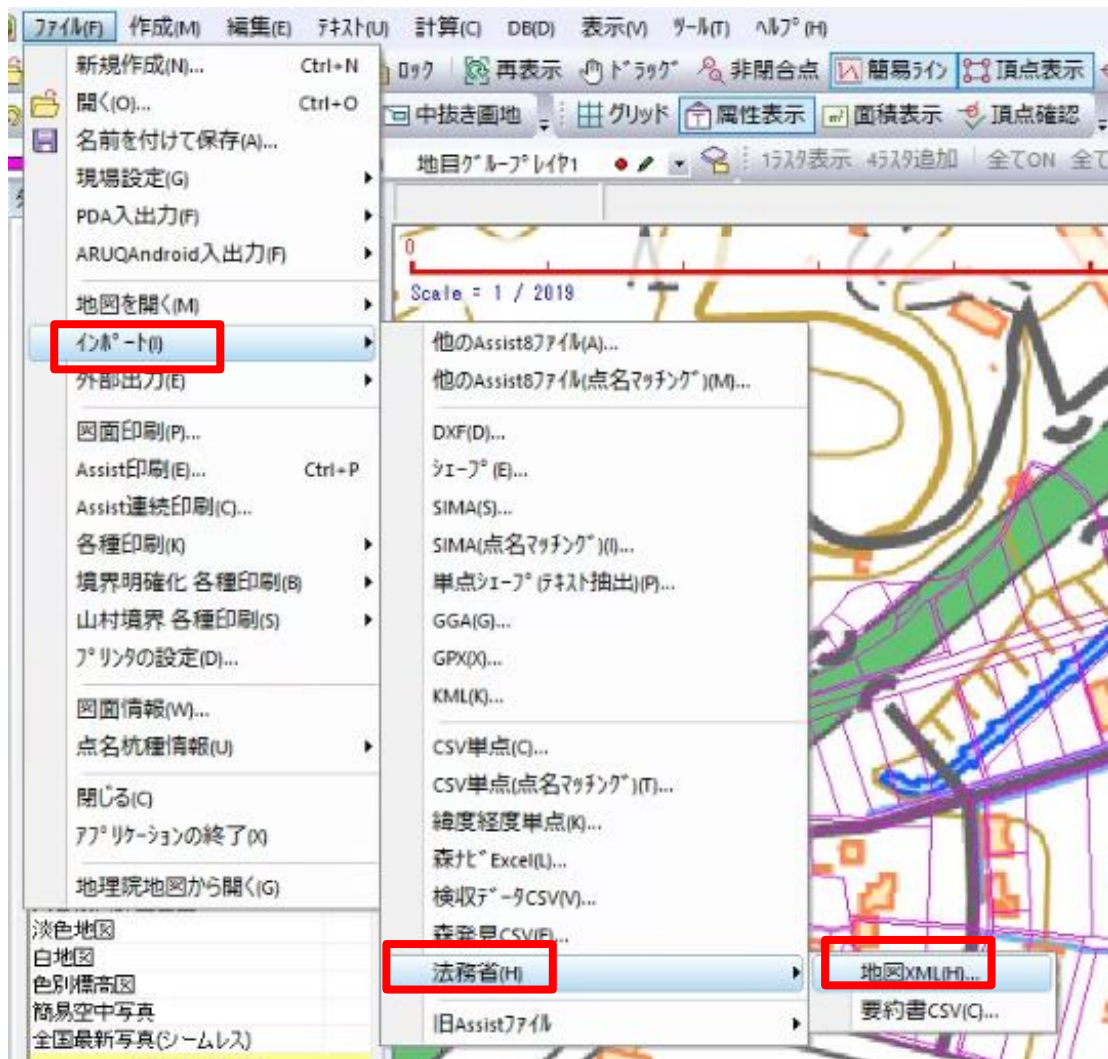


# 地図XMLを既存図面に取り込む方法

地図XMLを既存図面に取り込む方法は、「DBオプション」のご契約の有無によって異なります。ご契約内容に応じて以下の【DBオプションをご契約されている場合】【DBオプションをご契約されていない場合】のどちらかをご覧ください。

## 【DBオプションをご契約されている場合】

1. 既存図面を開き、[ファイル]→[インポート]→[法務省]→[地図XML]をクリックします。その後、ページ9の手順2以降の操作を行います。

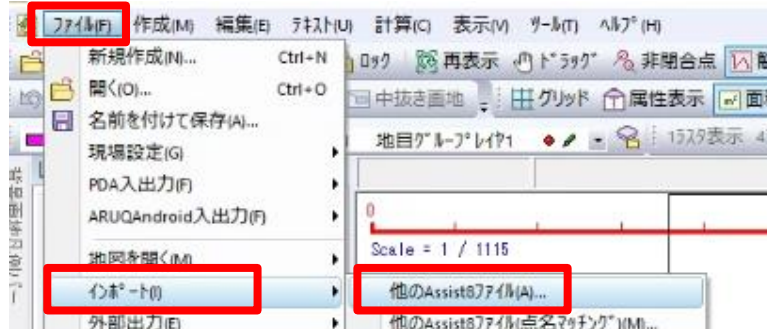


## 【DBオプションをご契約されていない場合】

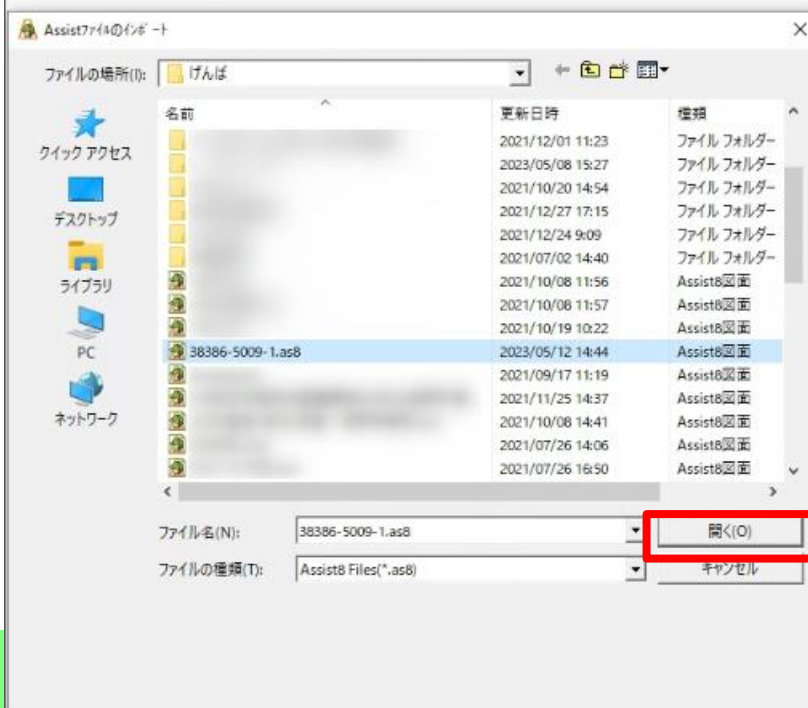
1. ページ11までに記載の手順で地図XMLデータをインポートしたら、通常と同じ様に[ファイル]→[名前を付けて保存]にて保存します。



2. 地図XMLデータをインポートしたい既存の図面を開き、[ファイル]→[インポート]→[他のAssist8ファイル]をクリックします。



3. 「Assistファイルのインポート」画面にて、地図XMLデータをインポートした図面を選択、[開く]をクリックします。

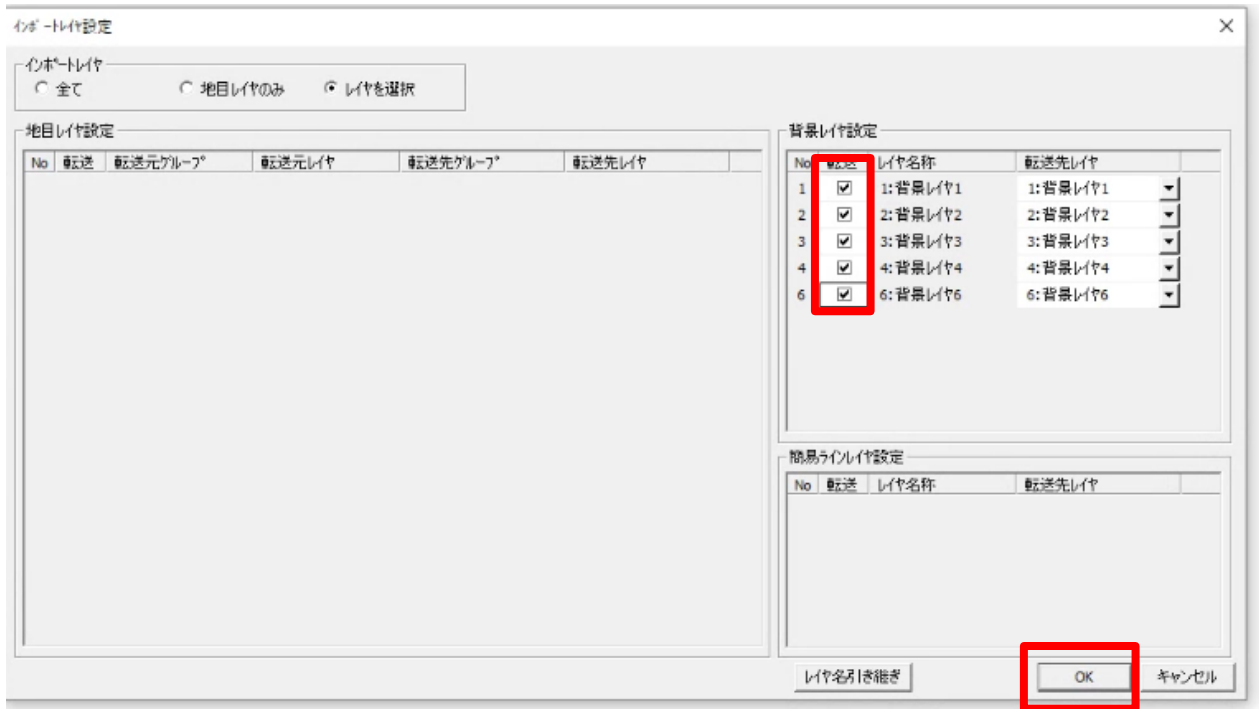




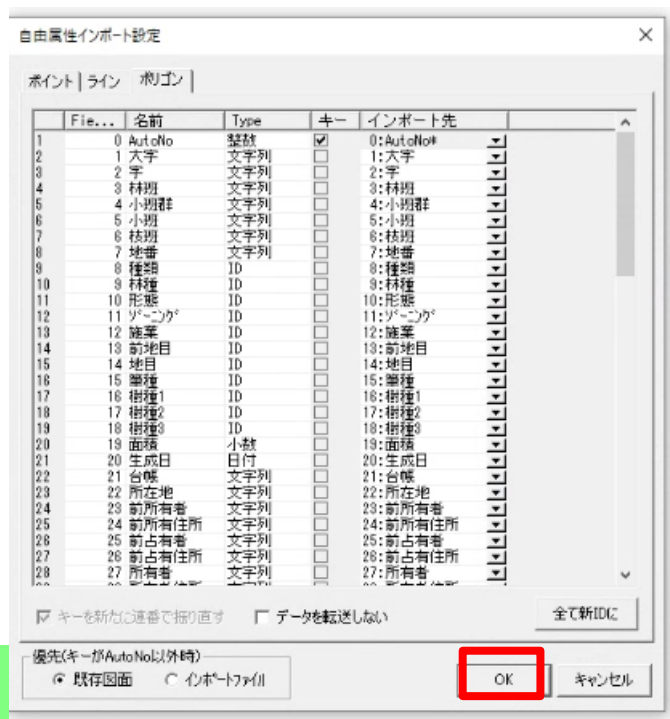
# 地図XMLを既存図面に取り込む方法

4. 「インポートレイヤ設定」画面の「背景レイヤ設定」欄にて[転送]のチェックを適宜オンにし、[OK]をクリックします。

※不要なものがあれば、オフにして構いません。



5. 「自由属性インポート設定」画面で[OK]をクリックします。



6. データの表示・非表示は「背景レイヤバー」にて切替可能です。





# 任意座標の地図XMLファイル の位置合わせ (多角指定移動)

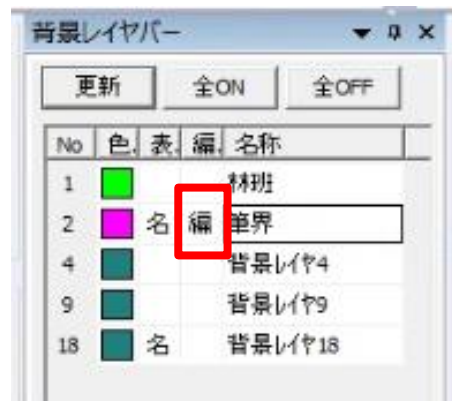
# 任意座標地図XMLファイルの位置合わせ

1. 筆界レイヤと地理院地図等を見比べ、本来筆界レイヤが表示されるべき場所を特定します。

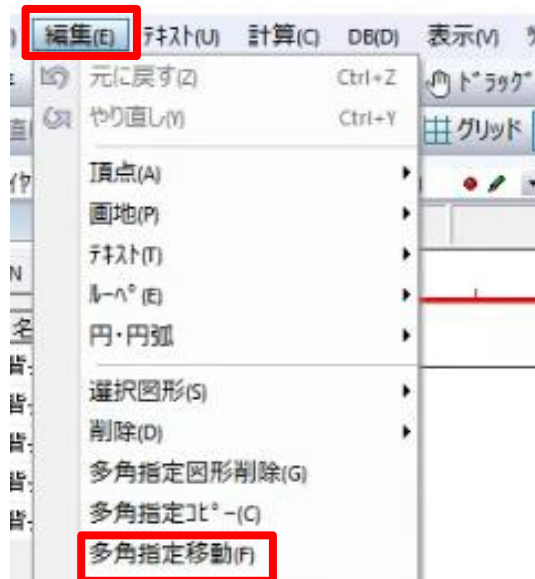
※ほとんどの場合下図のように図郭ごとにバラバラに配置されていて、それぞれの図郭ごとに多角指定移動を行う必要があります。



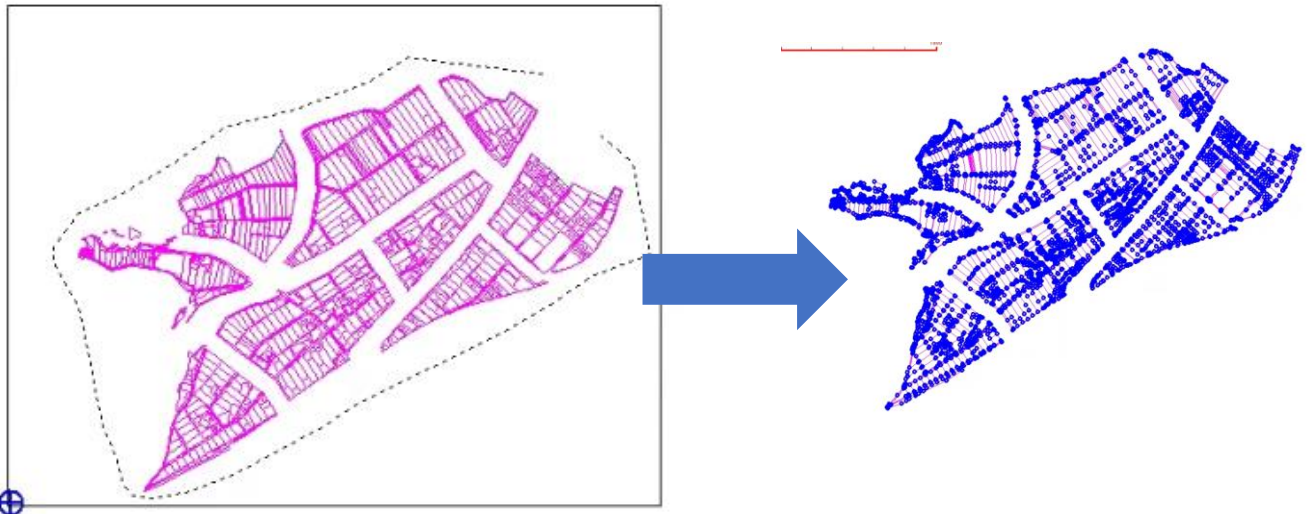
2. [背景レイヤバー]にて、筆界データが入っているレイヤの編集欄をクリックし、編集を有効にします。



3. [編集]→[多角指定移動]をクリックします。



4. 追加した筆界データ全体を囲むようにクリックし、最終地点でダブルクリックします。



5. 地図上にある筆界レイヤ上のどこか1か所をクリックし、次に地理院地図やオルソ上で本来表示されるべき場所に近いところを1か所クリックをします。

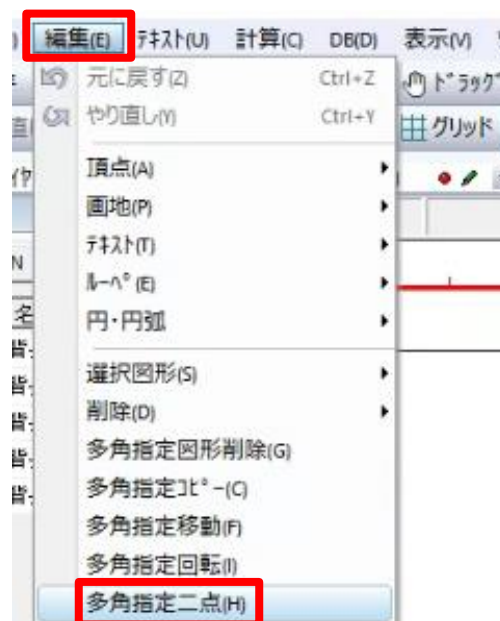
※正確な位置合わせは後で行うため、大体で構いません。

※描画に時間がかかる場合があります。



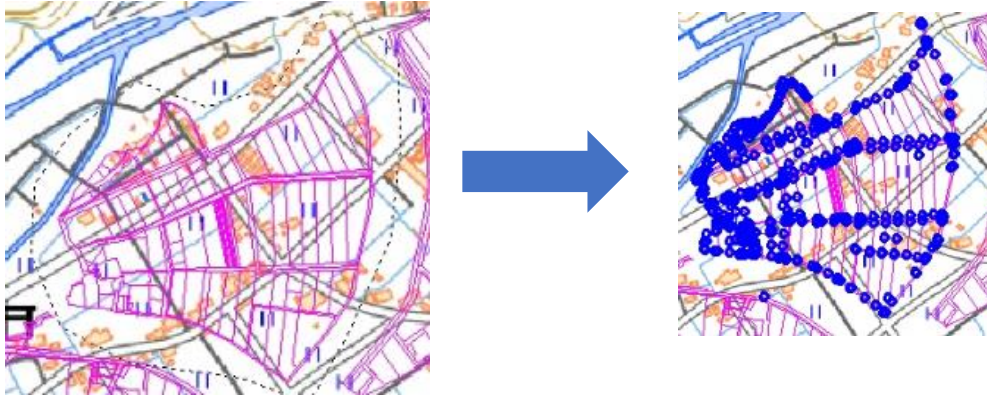
6. 次に、図郭1つ1つを正しい場所に移動させていきます。

[編集]→[多角移動二点]をクリックします。

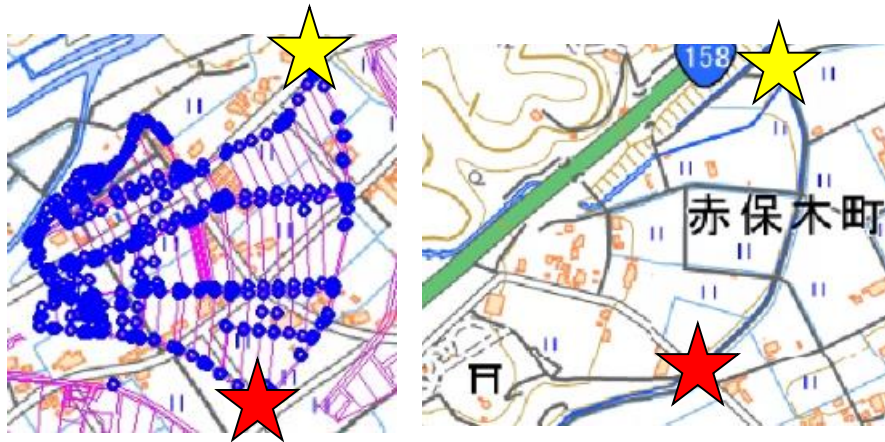




7. 移動したい図郭を囲むようにクリックし、最終地点でダブルクリックします。



8. 筆界と地理院地図などを見比べて、同一の地点を2箇所見つけます。（下図の星印のようなところ）



同一地点を見つけられたら、まず筆界レイヤ上で1か所目をクリックし、次に地理院地図やオルソ上でも該当する地点でクリックをします。2か所目も同様にクリックします。

※2か所目をクリックする際は、グレーで表示されている図形ではなく、必ずもとの筆界レイヤ上でクリックをしてください。

以上です。

